

## 市営温泉をご利用のお客様へ

### レジオネラ症の予防について

レジオネラ症とは、レジオネラ属菌が原因で起こる感染症です。レジオネラ症は健康な人にも感染しますが、お年寄りや免疫力の低下している人には特に感染のリスクが高く、重症化することもあります。

レジオネラ属菌は湿った土の中など環境中のあらゆる場所に存在しますが、最近では一般家庭での感染事例も報告されています。したがって、正しい知識を持ち、浴槽の管理を十分に行うことが必要となります。

#### ◆ レジオネラ症の症状は？

レジオネラ症は、**レジオネラ肺炎**と**ポンティアック熱**に大きく分けられます。

##### **レジオネラ肺炎**

主な症状：発熱、咳、痰、呼吸困難、頭痛、筋肉痛、下痢、意識障害、

精神神経系症状など

※ 重症化した場合、身体への影響が懸念されます。

潜伏期間：2～10日

##### **ポンティアック熱**

主な症状：発熱、咳、頭痛、筋肉痛、呼吸器症状

潜伏期間：1～2日

**裏面もご覧ください**

### ◆ どのように感染しますか？

レジオネラ症はレジオネラ属菌に汚染された目に見えないほど細かい水滴(エアロゾル)を肺に吸い込むことで感染します。温泉水を飲んだとしても肺に入れなければ感染しません。また、人から人への感染もありません。

### ◆ レジオネラ症を防ぐには？

レジオネラ症に感染しないためには、原因となるレジオネラ属菌を増やさないことが最も重要です。

レジオネラ属菌は、アメーバ(いわゆるヌルヌル)の中で増殖します。そのアメーバは、浴槽内で発生した細菌をエサとして増えるので、毎日の掃除で汚れや細菌を取り去り、アメーバのエサを無くせば自然とレジオネラ属菌はいなくなります。

### ◆ 家庭での予防のポイント！

毎日の掃除をしっかりと行っているのにレジオネラ症に感染する事例があります。

浴槽のコーナーの洗い残しやタイルの目地のすり減りの外、浴槽のひびが入った隙間がレジオネラ菌の巣になっている場合です。その場合は塩素系の消毒液を使い、布巾を漂白する程度の濃度とし、ジョウロ等で廻し掛け30分程そのままにしてから洗い流してください。この際には浴室の風通しを良くして行ってください。

上記消毒は月に1～2度ほど行うと効果的です。

♨ 清潔で快適な温泉を楽しみましょう ♨

お問合せ先  
熱海市公営企業部  
水道温泉課 工務施設室  
☎0557-86-6505・6506